

東京で開かれた「省エネ版・ビジネスプラン支援事業説明会」



村、伊江漁丸が県内で唯一、ベニズワイガニかご漁業を営んでいるが、マーケティングを担当するシステム

「イカスミじゅーしいー」(ビジネスプラン支援事業)の3つの商品開発の経緯、販売実績を説明。①ネットワークが力を発揮

②行政のコーディネートトは大切③思いを結集できる「旗」が大切④中心メンバー

の大徳丸と、保管・流通を担当する山菱水産の三者でインターネットを活用しながら効率的な生産販売体制を構築した。

大内氏は「これからの漁業」には①評価しても

らえる環境が大切②同じ価値観の事業者とパートナーを組み互いの事業を発展させる③地域社会を味方につけ、地域の活性化につなげる④応援しやすい環境をつくる⑤新しい取り組みには問題が発生するが、強い結束が成功のカギなどと強調した。

▼問合せ―全国漁業就業者確保育成センター、

電話03・35885・631

9

大内氏は、福島県いわき市で父が操業する大徳丸が県内で唯一、ベニズワイガニかご漁業を営んでいるが、マーケティングを担当するシステム

「イカスミじゅーしいー」(ビジネスプラン支援事業)の3つの商品開発の経緯、販売実績を説明。①ネットワークが力を発揮

②行政のコーディネートトは大切③思いを結集できる「旗」が大切④中心メンバー

の大徳丸と、保管・流通を担当する山菱水産の三者でインターネットを活用しながら効率的な生産販売体制を構築した。

局から事業の概要説明を受けた後、会場に設けた15の漁業団体のブースで個別相談に臨んだ。
石原氏は①読谷村、読谷漁協との「もずく丼」②うるま市、勝連漁協との「もずく餃子」③伊江

の頑張りが不可欠⑤島には島に合った進め方⑥まとまったときのエネルギーのすごさなど、これらの経験から得た「教訓」を強調した。
大内氏は、福島県いわき市で父が操業する大徳

みH201210面3省エネ版・ビジネスプラン支援事業説明